

連盟あきた

■発行所 秋田県看護連盟
TEL 018-867-7474
FAX 018-867-7477

■責任者 草薨 真子

『新たな年を迎えて』

秋田県看護連盟 会長 草薨 真子



あけましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の雪国秋田は、田んぼに残ったわずかな雪や山の雪景色を見る程度です。雪かき作業もほとんどなく、特に看護職に付きものの夜勤にあたってはなんともありがたい事ではありますが、この地球温暖化非常事態は、将来的・未来的には如何なものかと無関心ではいられないと思うところです。

ところで、去年は全国各地で災害のニュースに心を痛めた一年でした。また、そんな中でも、全国民が奮起に沸いたラグビーワールドカップでは、日本選手が「ワンチーム」となり、奇跡的勝利と言われたベスト8を勝ち取りました。たくさんの感動と勇気をもらい、「よし、自分も頑張ろう!」と気持ちを奮い立たせてくれましたね。

私は新会長となり、あっという間に過ぎた5か月でした。研修会の開催、初めて企画したOB会の実施、そして、秋田県看護協会・看護連盟役員合同会議、看護教育に関する懇談会等予定事業はすべて無事終了いたしました。また、公益社団法人秋田県看護協会の全地区支部集会（由利本荘・にかほ地区支部は代読）に、来賓としてご招待、挨拶の機会をいただき、秋田県看護連盟活動について一部ご報告する事が出来ました。協会と連盟の連携は重要であり、今後も同じ方向を向いて問題解決に向けた活動をしてまいります。

人生100年時代を迎えるなか、看護の力で、国民の生命と健康を守り「すべての人々が人間らしく、その人らしくより豊かな暮らしができるよう」看護職は、あらゆる場での活躍が求められます。そして、看護職自身が「いい看護が提供できた」と思える環境のもとで働き続ける事が大事だと思います。その役割を果たすため、いい環境のもとで働き続けられるためにも、新たな制度の創設や法改正などの実現に政治力が必要となります。今後も、秋田県看護連盟は、看護協会が掲げる「政策・提言実現」のために、「看護職の思いを一つ」にし、精一杯活動してまいりたいと思います。新たな年もどうぞよろしくお願い致します。

受章おめでとうございます

2019年 秋
瑞宝単光賞
今野 笑子 様



本年も
どうぞよろしく
お願い致します

令和元年5月11日 新任監事挨拶

湯沢・雄勝支部（個人会員）

監事 山中 正子

平成31年3月で雄勝中央病院を定年退職し、この度個人会員として監事を務めさせて頂くことになりました。

参議院議員選挙では暑い中、会員皆様の結集力で看護職議員を国政に送り出すことができました。

今後も送り続けるために皆様からの協力が得られるように頑張って参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



連盟あきた90号〈新任役員挨拶〉欄に未掲載となりましたことをお詫び申し上げます。

看護職の地位向上をめざして

日本看護連盟 会長 大島 敏子



謹んで新春のお祝いを申し上げます

昨年は、全国各地にもたらされた台風や大雨に心を痛めた一年でした。また、第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、会員数だけの得票が得られないことに力不足を覚えております。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年となりました。先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日ベッドサイドで病める患者と共にありました。今年は新たなスローガンとともに、臨床と看護政策を結ぶ情報発信にも力を入れていきます。

子年は、新しい生命力が想像される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらすそうです。人生100年時代を迎えるなか、看護連盟は会員を増やし、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築しつつ、看護職の地位向上をめざして、さらなる政治参加に邁進して参りましょう。

Nursing now ～看護の力で健康な社会を!～

公益社団法人 秋田県看護協会
会長 高島 幹子

新年、明けましておめでとうございます。

当協会は今年3月に、平成21年から平成30年までの足跡をまとめた創立70周年記念誌を発刊いたします。どうぞご覧くださいますようお願いいたします。

さて、Nursing Now キャンペーンとは、フローレンスナイチンゲールの生誕200年を記念し、看護協会と看護連盟が連携して推進しています。その目的は、看護職が社会に求められる役割を果たせるよう看護職が一丸となって取組みを進める機運とすることと、国民の看護職への関心を深め、人々の健康向上に向けた看護職の役割理解を促進することにあります。看護職間の連携を更に強化して看護政策実現に向けて努めてまいりましょう。

今年は、十二支の最初の子年（ねどし）です。そして記念すべき東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。新しいことにチャレンジして活気ある素晴らしい年になりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

看護に誇りを持てる職場環境の整備

自民党国会対策副委員長
衆議院議員 あべ 俊子

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年の清々しい空気に、国会議員としての初心が熱く思い起こされます。昨年の自由民主党新人事では国会対策副委員長を拝命いたしました。法案の成立・可決に向けた与野党間の調整という重責を伴う役職です。診療報酬改定など、社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けましたのも、貴連盟のご支援あってのことと、感謝申し上げます。

日本の医療、社会保障は転換期を迎え、看護職自体の働き方にも変化が求められています。看護業務においてもAIやIoTを活用したデジタル化も進んでおりますが、結婚、出産、子育てなど、ライフイベントに応じた働き方を支える制度が必要です。

看護は、生活と命を繋ぐことのできる尊い職業です。今年も、患者を中心とする多様な看護のあり方を常に考え、看護に誇りを持てる職場環境の整備に尽力して参りますので、忌たないご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

看護の可能性のさらなる広がりを

自民党文部科学部会長
参議院議員 たかがい 恵美子

立春の候、秋田県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための 2040 年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる広がりを信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁栄を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げ、ご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。

一票一票の重みを感じながら

参議院議員 石田 まさひろ



秋田県看護連盟のみなさま、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。今年は夏のオリンピックが 56 年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020 年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のお力を頂き、二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は 17 日間で 47 都道府県を回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。

昨年 9 月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の会派(野党)との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。党の運営には欠かせないポジションですので、しっかりと努めて参ります。

そして当選直後から再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。その声を国政に届け、看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために、この六年間、再び尽力してまいります。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

「繋げる」仕事を大切に

総務大臣政務官
衆議院議員 木村 やよい

新年のご挨拶を申し上げます。昨年は新たな元号の幕開けとともに、総務大臣政務官を拝命する忘れられない年となりました。その重みと責任を噛みしめながら、国家の繁栄と安寧のために力の限りがんばります。

今年は 5G が本格的にスタートします。人口減少・超高齢社会のわが国で、ICT(情報通信技術)は、これからの医療・福祉・農業・観光・地域交通・防災・行政サービスなどの分野で大きな役割を果たします。情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、情報を活用していけるように繋ぐのも私の役割と心得ます。看護もまさに「繋げる」仕事。医師と患者・ご家族を繋げ、チーム医療のキーパーソンとして各医療職を繋げ、医療と介護を繋ぐ。そして、看護職議員として、皆さまの思いを国政に繋げ、実現してまいります。

これからも、女性、母親、看護の視点を活かしながら、平和で、誰もがより健康で活躍できる、誇りある日本を築いてまいる決意です。ご指導よろしくお願いいたします。

令和元年度 秋田県看護連盟 第2回会員研修会



開催日；令和元年10月20日(日) 10時00分～12時00分

会 場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間

対 象；看護職（会員・非会員・賛助会員）

参加数；155名〔会員123名、非会員7名、賛助会員1名、県議会議員1名、役員23名〕

講 演；テーマ 『寄り添える心を磨こう』

講 師 大曲厚生医療センター

がん看護専門看護師／皮膚・排泄ケア認定看護師 飛澤 貴子 氏

講 話；テーマ 『笑うあなたに福来る ～あなたの笑顔は素敵ですか？～』

講 師 テレビ・ラジオパーソナリティ 石垣 政和 氏

《報告》

講師の飛澤先生は、5事例について実際の関わりについて具体的に紹介し、「寄り添うこと」について話された。120事例あったとしても同じ事例はなく、患者さんから学んだことを内省し、「一番は患者さんのため」という思いが、寄り添える心を磨くことなのだと感じた。また、言葉を交わす一瞬一瞬は「一期一会」で言葉一つひとつ大事にしなければということ話をされた。

飛澤先生の好きな言葉として、石垣靖子先生の言葉「患者をパーシェント（我慢する人）にしない、最後までパーソン（一人の人）として対応する。」が紹介されたが、それが「寄り添える心」の原点のように聞こえた。 記；工藤



講師；飛澤 貴子氏

《アンケートから》

- ・がん患者さんとお話するときに迷うことがありましたが、自分のこれからの看護に生かしたいと思いました〔20歳代・30歳代〕
- ・今まで本当に患者さんに寄り添えていたのか考える機会になった。寄り添える心、自分に当てはめながら考えていました

〔50歳代〕



一期一会を大切に！



会長より講師の熱烈紹介



「女性のランチ会ってサ～」

《報告》

石垣氏は颯爽と登場し、あっという間に受講者の心をつかみ、楽しいことは楽しく、辛いことは辛そうに話すことが大事といいながら、笑いの渦の中に引き込んでいった。「夫婦の愛情度の話」では、愛情度100%になる時は「結婚式の指輪交換の時」、「出産」は80%、出産後2年間夫が何をしてくれたか（共働きしている人は実質サポート・専業主婦の場合は精神的サポートの有無）によって0%まで一気に下がる。それが100%に戻るのには、「夫が死ぬ時！」には会場全体が大笑いであった。

自分の経験談や町中ウォッチングしたことを笑いを交えながら講話していただき、あっという間に時間が過ぎた。

「笑っていればいいんです、声を出して…」と締めくくられた時、ストレスを抱えながら働いている自分たちには身に染みた言葉であった。そして仕事を忘れ、声を出して笑って聞いたことでストレス発散できた。笑えて元気になれた講話でした。 記；工藤

令和元年度 第2回 支部長・施設幹事・リーダーセミナー



開催日；令和元年10月20日(日) 13時00分～15時00分

会 場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間

対 象；看護職（会員・非会員・賛助会員）

参加数；127名〔会員99名、非会員4名、県議会議員1名、役員23名〕

講 演；テーマ 『住み慣れた地域で生ききるために』

講 師 特定非営利活動法人 にこっと秋田 代表理事

多機能型重症児者デイサービス にのに 管理者 八代 美千子 氏

《報告》

「にこっと秋田」がどの様にしてできたのか、今後どの様にしていきたいのかを語って頂いた。これまでの看護師としての経験と、障害児との出会い、またその子を支えている親御さん達の力になりたいと思ったこと。そして、社会的背景（重症心身障害児者が利用する施設がまだ少ない）などがあり、「安全にお預かりする場所を増やせば、本人もご家族もさらにいきいきできるのではないか」と、一念発起して多機能型重症児者デイサービス「にのに」を2018年10月に開設された。重症心身障害児者を“めんこさん”と呼ぶことで親しみをもち、自分の家にいるように安心して利用できる施設造りを行っていた。

また、施設に閉じこもっているだけでなく地域の方々と触れ合う機会を作るため、積極的に街に出て様々な体験を行い、めんこさんと社会との繋がりを持てるよう、そして知って頂けるように活動されている。

開設し、多様な課題が見えてきて、厳しい現実もあるが、住み慣れた地域で生きていくために、色々な力を借りて「にのに」の質を向上させ、活動を発信させたいという強い想いのある熱のこもった講演だった。鈴木健太県議会議員より「普通に暮らしていたらわからないことだった。私たちが何ができるのかを考える良い機会となった」と感想を述べられた。安定した経営環境のために是非ご尽力いただきたいと思った。 記；藤原



「大きな家族になろう」



とにかく明るい八代講師



「何ができるのかを考える
良い機会になりました」

《アンケートから》

- ・「にのに」のめんこさん達の笑顔が素敵で癒されました〔20歳代〕
- ・すごく心に染み入りました。まずは自分の置かれた場所で精一杯頑張ります〔30歳代〕
- ・看護師としてだけでなく、人として何を考え、しなければならないか考えさせられました〔50歳代〕
- ・それぞれの立場で、今できることを絶え間なく、元気に、笑顔で続けていくことが必要だと思いました〔50歳代〕
- ・県内初であるデイサービスを知ることができ、改めて必要性の大きさを実感しました。それぞれの地域でサービスが受けられる体制づくりが必要だと感じました〔50歳代〕
- ・とってもすばらしい立ち上げで、頑張っている様子がよく分かりました〔60歳代〕
- ・本人やその家族の生活を犠牲にすることなく、地域で、国で支えていく考えが広がっていくような働きかけが必要だと感じました〔60歳代〕

第13回 ポリナビワークショップ in AKITA



No.1

開催日時；令和元年12月15日（日）13時00分～16時00分

会 場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間

参加者数；147名

（会員98名、非会員14名、青年部委員13名、連盟役員22名）

○挨拶 秋田県看護連盟 会 長 草薨 真子
 青年部委員会 委員長 田中 富三男
 参議院議員 石田 まさひろ 氏

○報告 青年部委員会の活動紹介
 第25回参議院議員選挙結果
 選挙の時に青年部はどう動いたか

○クイズコーナー

○グループワーク「行きたくなる選挙を一緒に考えてみよう」

○発表

○講評 参議院議員 石田 まさひろ 氏

ポリナビワークショップ in AKITA 2019
 秋田県看護連盟 第13回 青年部研修会

そろそろ若手看護師も
 政治や選挙の話をしよう

日時 令和元年 12月 15日(日) 13:00～16:00
 (受付は12:30～)

会場 秋田キャッスルホテル

対象者 20～30歳の看護職者・看護学生

参加費 無料

プログラム

- ・秋田県看護連盟青年部の紹介
- ・第25回参議院議員選挙の振り返り
- ・グループワーク

「行きたくなる選挙を一緒に考えてみよう」

講評 石田 まさひろ 氏

主催 秋田県看護連盟青年部委員会



お問い合わせ 秋田県看護連盟事務局 電話018-867-7474 FAX 018-867-7477

ポリナビとは「Political Navigator's Network」略で、看護連盟20歳代会員を中心として、2007年に発足した集まりのことです。ポリナビでは、「政治」や「選挙」の学びを通じて、自分たちにもできることを考え、実行することで日本の看護・医療がよりよいものになることを目指しています。

秋田県で開催されるポリナビワークショップも今回で13回目となり、無事に開催することが出来ました。今回は初めての試みとして、「秋田県看護連盟青年部の活動を紹介」、「選挙に関するクイズコーナー」を実施しました。

この機会を通して少しでも看護連盟のこと、青年部の事を知っていただけたら幸いです。クイズは青年部のみんなで協力し問題を作成していきましました。ありがちな教科書的な問題ではなく、今まで考える機会がなかったようなポイントを突いて作成したつもりです。船舶も選挙カーとして使用できることをはじめ、私たち自身も知らない事が多くあり、青年部としても勉強になりました。

また、今回はアンケートもWebアンケートを初めて実施しました。こういった面でも少しずつ若者のニーズに対応し効率化を図っていけたら良いと思います。



●アンケート ※お帰りの前に右のQRコードを読み取りアンケートにご協力をお願いします



第13回ポリナビワークショップ in Akita

政治・選挙
 クイズコーナー

第2問
 次のうち選挙運動で禁止されていないものはどれ？

1. 戸別訪問
2. 飲食物の提供
3. SNSでの選挙運動

第6問
 選挙運動に選挙カーとして使えないものはどれ？

1. 船舶
2. オープンカー
3. バイク

第13回 ポリナビワークショップ in AKITA



No.2

今回は石田まさひろ先生も参加していただき、講評の中でたくさんの学びがありました。

『若い年代の投票数が少ない→60代・70代の投票率が3倍、議員は多い集団の意見を聞くのが現実→投票数が少ないのは損。』若者は投票行動をしないことで、税金を払っているのに社会的に損をしていることをもっと残念に思わなければならないと感じました。

メディアの報道内容については『テレビでは1割が正答、9割が誤答。新聞も2割程度。その状況の中で自分たちがどう判断するか。世の中の物事を理解するためには→様々な学習が必要』だそうです。

中でも私自身が特に印象に残っていることは、投票に行きたくなる対策として投票所を増やせば？という意見に対して、『投票に関する人件費が膨大、投票所を増やすのは難しい。投票所が増えても投票率が上がるわけではない』ということです。確かに、職場や学校が近い人ほど開始時間にルーズになりがちな印象があるように、非常に頷ける現実です。

大切なのはやはり興味を持ってもらうことで、そのために青年部も頑張っていかなければならないと実感しました。

アンケート結果の中には、「投票に行かない人の分析が足りていない」という大変貴重なご意見もありました。グループワークの中にあった、「子どもが生まれてから行くようになった」「国民の義務、行かないと思いが伝わらない」「文句を言えるためにもまずは投票に行くという政治参加だ」「税金を払っているのだから当然」という政治意識を多くの皆さんに広げていく必要があるのだと思いました。

今後はそういった面も強化し、数字に強くなること、しっかり現状を分析し、ただ行うだけのポリナビにならないよう努力していかなければならないと実感しております。

今後とも、秋田県看護連盟青年部、ポリナビワークショップをよろしくお願い致します。

(青年部委員長 田中)



秋田県看護協会・秋田県看護連盟役員合同会議



看護連盟は、看護協会の看護政策を達成するための政治団体として設立されました。看護協会の目的達成のためには政治的手段でしか解決できない課題があります。そのために看護職の代表を国政に送り、法律の制定や改正・労働条件・看護教育の改善などがなされてきました。

秋田県においても、看護協会と看護連盟は情報を交換し課題を共有し、同じ方向を向いて問題解決に向けた活動を行うことを目的に役員合同会議を年 1 回開催しています。

開催日；令和元年12月11日(水) 時 間；10時00分～12時00分

会 場；秋田県看護センター 会議室

参加者；秋田県看護協会	会 長 高島 幹子氏	秋田県看護連盟	会 長 草薨 真子
	副 会 長 佐藤 道子氏		副会長 大場 玲
	副 会 長 戸蒔 高子氏		副会長 伊藤 美幸
	常務理事 吹谷由美子氏		幹事長 松村 良子
			顧 問 土田 妙

議 題；秋田県看護職における問題と課題等

- 1) 医療機関の看護師不足について
- 2) 看護師の働き方改革について
- 3) 協会から県への要望事項について
- 4) 秋田県看護連盟活動報告
- 5) 第25回参議院議員選挙結果について
- 6) 県看護協会・連盟入会状況について
- 7) その他



＜会議内容の一部抜粋＞

☆看護現場における問題等

- ①看護職の時間外労働や、年次休暇取得促進（5日間取得）について、現場では厳しい状況下にある。看護協会としても今後調査していく予定である。
- ②訪問看護ステーションでは人員不足による継続困難な状況にあるステーションもある。退院後の在宅ケアが重要視されている中で、地域間での連携も必要で訪問看護に従事する人材確保が課題である。
- ③厚生労働省による調査では、秋田県の看護師就業充足率が最も高いとしているが、地域性を無視したデータであり、現状と相反したデータであることを県も承知している。
- ④人口の地域偏在が顕著になってきている。〔秋田市内へ高齢者世代が移住、市外の過疎化が進み独居あるいは老々介護世帯の増加〕
- ⑤特定行為研修は現在 2 施設(秋田赤十字病院・本荘第一病院)で実施、研修修了者は10名である。単一の特定行為区分終了のため活動に制限があるのが実状である。秋田大学病院では次年度ナースプラクティショナー(特定行為21区分)研修開始予定で、4名の受講が決定した。
- ⑥看護師の働き方改革については、看護業務の中に、薬剤業務、採血検査業務、医療機器管理業務等があり、他職種へのタスク・シフトについて時間をかけて取り組む必要がある。
- ⑦保健師の就業場所や配置状況などの現状。(採用の年齢制限、事務職採用がなく保健師が事務作業をしている現場が多いなど)

*看護協会から県への要望事項についても情報を共有する事ができた。今後も看護協会が掲げる「政策・提言実現」のためにも、協会と連盟の連携は重要である。看護連盟活動の役割として、県レベル、国レベルの課題を整理し、各級議員に現場の声として届けていきたい。

令和元年度 看護教育に関する懇談会



日本看護連盟草間朋子前会長（現顧問）は、東大医学部衛生看護学科卒業後、研究者・教育者として NP 教育、保健師・助産師の大学院教育化を全国に先駆けて取り組み、東京医療保健大学研究科長・副学長として看護職の育成に力を注いでおられます。そこで、平成 27 年 10 月 9 日、草間会長（当時）をお招きし県内の看護教育者の皆さんから秋田県の実情を話して頂きました。翌年からは秋田県看護協会の役員の方々とともに看護教育現場の現状と課題を共有する機会として年 1 回開催しております。

開催日：令和元年12月11日(水) 13時30分～15時30分

会 場：秋田県看護センター 会議室

参加者：秋田県看護協会役員 4 名、連盟役員 5 名（同前頁）

看護教育者 6 名（県医務薬事課堀井医療人材対策室、秋田大学大学院篠原教授、由利本荘医師会立看護学校佐々木副学校長、秋田市医師会立秋田看護学校伊藤副学校長、秋田県立衛生看護学院吉成副主幹兼班長、喜多教員）

議 題：1) 看護教育現場での問題・課題について

2) 学生説明会について

3) 秋田県看護連盟への要望等

4) その他



《概要》

1) 看護教育現場での問題・課題について

- ① 2019年度よりカリキュラムを変更し、現場に強い看護師を育てたいと努力。高齢者看護(摂食)等選択科目を増やした。今後の成果を期待。
- ② 県内に残る学生が減っている。県出身者も県外に就職している。
- ③ 就職してからも生涯学習が必要で、どのように臨床判断に繋げようか常に考える。
- ④ 記録物が多い中、現場で通用する臨床判断を培う為にはどうするかを悩む！
- ⑤ 在院日数が短縮されて受け持ち患者がすぐ退院してしまう現状。複数の患者を受け持つのでアセスメントするには多くの課題も残る。
- ⑥ 学習能力やコミュニケーション能力が低い学生が多くなっており、これらを高めるためには、現在の3年間では余裕がなく、4年教育は有効。
- ⑦ 看護教育4年制については今ある施設の中で条件を付けられると困難と考える。また、教員自身の質を高める施策や研修を受けた後のステップアップの場も必要。
- ⑧ 教育現場と医療現場のスタッフが期限を決めて交代できるシステム、またはスタッフの交流や情報交換のシステムも制度化できればいいのでは？
- ⑨ 学習習慣が身についていない学生をそこから支援しないといけない。ここでも教育現場の疲弊感が強い現状にある。
- ⑩ 新人のメンタル面が心配なケースもある。技術的なことは現場でなんとかできるがメンタル面の課題を抱えた新人もいる。躰きそうな子をどうやって育てるかも教育現場の課題。
- ⑪ 少子化の中で、受験者数の減少に危機感を持っている。定員割れしている。

2) 学生説明会について

卒業年次の学生を対象に看護協会と看護連盟についてお話しする機会を頂いている。

〔後日今年度も3校より受け入れのご返答を頂きました〕

※ 現場の切実な生のご意見を沢山いただいた。看護基礎教育の4年制化は看護協会の重点政策であり、学生のためにも教員のためにも、どのような支援や制度が整えば可能になるのかの検討が喫緊の課題である。秋田の現状を踏まえた具体的な提言につなげていきたい。

北海道・東北ブロック看護管理者教育者政策セミナー



開催日；令和元年11月2日（土） 13時00分～17時30分

3日（日） 9時30分～15時00分

会 場；仙台ガーデンパレス

参加数；2日 119名

〔ブロック参加者78名、公開講座11名、宮城県役員30名〕

3日 104名

〔ブロック参加者74名、宮城県役員30名〕

秋田県参加者 両日とも6名

〔看護協会1名、看護管理者3名、草薨会長、松村幹事長〕



プログラム；

第1日目 11月2日（土） 13:05～14:25 講演Ⅰ 「今年度の重点目標と重点政策」

講師；日本看護協会常任理事 岡島 さおり 氏

14:35～16:35 講演Ⅱ 「医療政策の動向と課題」

講師；政策研究大学院大学 教授 島崎 健治 氏

16:45～17:30 講演Ⅲ 「国政報告会」

講師；衆議院議員 土井 亨 氏

第2日目 11月3日（日） 9:30～10:30 講演Ⅳ 「国政報告会」

講師；参議院議員 高階 恵美子 氏

10:40～11:40 講演Ⅴ 「お金の貯め方、増やし方」

～お金の正しい常識を身につけるために～

講師；ファイナンシャルプランナー 林 正夫 氏

12:40～13:30 講演Ⅵ 「看護政策実現に向けた管理者・教育者の役割」

講師；日本看護連盟 会長 大島 敏子 氏

13:40～14:30 グループワーク 「現場の課題を政策につなげる」

14:30～14:50 発 表 講評；日本看護連盟 会長 大島 敏子 氏

《感想～アンケートより》

- ◇協会の重点事業の取り組みについて理解を深めた。
- ◇丁寧な説明で分かりやすかった。資料も見やすく、多くのデータを出して頂き参考になった。
- ◇政策に敏感になり予算を取る大切さを学んだ。協会と連盟の共同作業であると何度も伝えていた。
- ◇人口動態の変化に伴う医療政策の動向を理解し、自分の立ち位置で関心をもって対応していきたい。
- ◇マップの説明では「2045年」は明るさが見えない。子や孫の世代のためにも看護職の努力が重要。
- ◇頭では理解していたつもりだったが、様々なデータで可視化され、より問題の深刻さを感じた。
- ◇災害復興と未来を考えた政策と予算、与党としての責任と取り組む姿勢が伝わった。
- ◇高階先生の活動、様々な分野の所掌、女性議員たちへのリーダー性は、さすが我が看護職の代表と嬉しく思いました。
- ◇現場の声が政策に繋がるように数値を読める管理者にならないと強く思った。
- ◇年金のしくみ、NISA、IDeCOについて知りました。もっと若い人たちに聞かせたいお話でした。
- ◇大島会長の力強い講演に心が揺さぶられた。◇引き込まれた。◇圧倒された。◇身が引き締まった。
- ◇活発なグループワークができたが時間が足りなかった。

令和 2 年度 秋田県看護連盟 通常総会・ 秋田県看護連盟創立60周年記念特別講演会

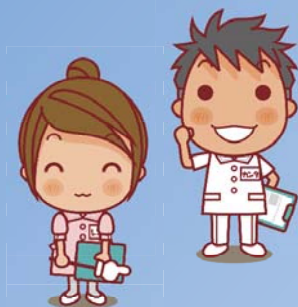
※開催日時が変更になっております。

日 時；令和 2 年 5 月 30 日(土) 10:00～12:00 13:30～15:30

会 場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間

10時00分～12時00分

【秋田県看護連盟通常総会】



- 経過報告
1. 令和元年度 秋田県看護連盟通常総会報告
 2. // 日本看護連盟主催 会議報告
 3. // 秋田県看護連盟主催 会議報告
 4. // // 事業報告
 5. // // 支部活動報告
 6. // // 決算報告
 7. // // 監査報告

- 審議事項
1. 令和 2 年度 スローガン(案)
 2. // 事業計画(案)
 3. // 支部活動計画(案)
 4. // 予算(案)
 5. // 役員改正(案)

13時30分～15時30分

【秋田県看護連盟60周年記念 特別講演会】



講 師；日本看護協会 会長 福井 トシ子 氏
 テーマ；『国民の健康と生活を支える看護職に期待される役割
 ～看護の力で健康な社会を～』（仮）



講 師；参議院議員 たかがい 恵美子 氏
 テーマ；『看護の未来』

〔令和 2 年度秋田県看護連盟研修会(案)のお知らせ〕

研修名	日 時	対 象	講 師	会 場
役員・支部長・ 青年部委員研修会	6月19日(金) 14:00～16:00	県役員・支部長・青年部委員	草薨会長、松村幹事 長、藤原幹事	秋田拠点センター アルヴェ
第 1 回会員研修会	7月19日(日) 10:00～12:00	会員・非会員・賛助会員	日本看護連盟幹事 前田和哉氏(予定)	秋田キャッスル ホテル
リーダーセミナーⅠ	7月19日(日) 13:00～15:00	県役員・支部長・施設幹事・ 連絡員	日本看護連盟常任幹事 長沢恵美子氏(予定)	秋田キャッスル ホテル
看護管理者研修会	9月19日(土) 13:00～15:00	看護管理者・教育者 (会員・ 非会員)	看護職の働き方改革 について(未定)	秋田キャッスル ホテル
リーダーセミナーⅡ	10月24日(土) 13:00～15:00	県役員・支部長・施設幹事・ 連絡員	未定	秋田キャッスル ホテル
第 2 回会員研修会	未定	県南地区会員・非会員	未定	未定
	未定	中央地区会員・非会員	未定	未定
	未定	県北地区会員・非会員	未定	未定
ポ リ ナ ビ ワークショップ	12月6日(日) 13:00～16:00	若手会員・学生・非会員	未定	秋田キャッスル ホテル

あなたの入会が活動を支えます



2020年度の会員入会をお願いします。
目標会員数は正・特別会員2750名、
賛助会員100名です。
宜しくお願いします。

“現場の声を国政に届けましょう”
“仲間の輪を広げましょう”



2019年度会員数 (令和元年12月現在)

正 会 員 : 2,689名

(うち 名誉会員2名、特別会員16名)

賛 助 会 員 : 96名 (197口)

学 生 会 員 : 0名

看護協会会員 : 7,086名

加 入 率 : 37.9%

正会員	公益社団法人日本看護協会会員である方 “現場の声を聞かせてください” 年会費 8,000円 (本部会費5,000円・県会費3,000円)
特別会員	正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会会員でない方 “後輩たちが働きやすい職場環境・処遇改善のための制度づくりを応援してください” 年会費 8,000円 (本部会費5,000円・県会費3,000円)
賛助会員	当連盟の主旨に賛同していただける方であれば、一般市民・介護職の方、団体などどなたでも入会できます。 “ひとの命を守る看護師を応援してください” 年会費 一口 1,000円 (何口でも可)
学生会員	保健師、助産師、看護師または准看護師の資格を得るために就学している看護学生の方 “誇りを持って堂々と働く専門職となるために若い力を” 年会費 無料

2020年度新規・継続入会受付中です。入会申込は各支部または
秋田県看護連盟事務局 TEL 018-867-7474 までお願いします。

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊——— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ———＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠るためのヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所

〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

お気軽にお問い合わせください



0120-639601



編集後記

明けましておめでとうございます。令和最初のお正月はいかがお過ごしでしたか？

いよいよオリンピックイヤー。聖火リレーは福島県を3月26日にスタートし秋田には6月9日(火)に県南⇒秋田市、10日(水)湯上市⇒県北の14市町村計171区間を駆け抜けるルートが示されました。観戦チケットは取れないと思われますので、せめてコースの沿道で新しい時代の“希望の道をつなぐ”聖火リレーを応援したいと思います。1964年の東京オリンピックでは高速道や新幹線などのハード、ごみのない清潔な都市というソフトを歴史に残しました。2020年のレガシーは「共生社会、ハード面・ソフト面とものバリアフリー」だそうです。全員参加のオリンピック、皆で盛り上げ成功させましょう。

記；鎌田